

教材名	雨のバス停りゅう所にて	教科書	教育出版（学研、東書、光文、日文）	学年	4年
内容項目	規則の尊重	約束やきまりの意義を理解し、それらを守ること			
内容項目のとらえ方 (子どもの実態を踏まえ)	「きまりなのだからとにかく守らねばならない」というのではなく、きまりとは何か、どうしてそのきまりが必要なのかを理解し、そのきまりを大事にしていくにはどうすればよいかなどを主体的に考えていく。				

授業の展開

子どもたちの活動	指導上の留意点
1. 「雨のバス停りゅう所」を読む。 2. バス停での場面について、詳しく状況を想像する。 3. よし子の行動について考え、自分が以下のどちらの意見かを決め、理由を考える。 ア、よし子は間違っている。 イ、よし子は間違っていない。 自分の意見と理由を発表したり、他の考えに質問したり、意見を言ったりする。	特に最初のバス停の場面については、注意深く状況を読みとるようにアドバイスする。 教科書の文章から、状況をつかませる。 この部分はクラス全体で、あるいは班でどちらの意見かということと、どうしてそう思うかを出しあわせる。議論を通して、規則やマナーについて考える機会にしていく。

<参考> 各教科書ではどうかいてあるのかな

教育出版	バスの停りゅう所では、バスを待つ人たちが、 <u>たばこ屋さんののき下で雨宿りをしています。のき下に入っても・・・</u>
光文書院	バスのていりゅう所ではバスを待つ人たちが、 <u>雨やどりをしながら、バスが来る方</u> とときどき見えています。
学研	バスの停留所では、バスを待つ人たちが、 <u>たばこ屋さんののき下にならんで、雨やどりをしていました。よし子さんとお母さんものき下に入りましたが・・・</u>
日文	バスのていりゅう所では、バスを待つ人たちが、 <u>そばのたばこ屋さんののき下で雨やどりをしています。のき下に入っても・・・</u>
東書	バスのていりゅう所では、バスを待つ人たちが、 <u>たばこ屋さんののき下で雨宿りをしています。だいたい早く来たじゅんにならんでいるようです。よし子も雨宿りしている人たちの中に入りました。</u>

予想される意見

例 **間違っている！**

- ・雨宿りと書いてあるが並んでバスを待っていると空気を読んで理解するのが普通。
- ・自分ものき下で列に入っているから、一番になるのは割り込みになる。
- ・よし子は気が短そうなので、きっとわざと割り込んだと思う。
- ・よその人も何か言ったようなので、人の気持ちを考えていないと思う。

例 **間違っていない！**

- ・雨宿りなんだから、並んでバスを待っていると理解しにくい。
- ・もし、よし子が雨の中バス停でバスを待っていたら、どっちが先とかんがえる？雨の中バス停に並ぶのと、先に来てものき下で待つのはどっちが先？そう考えるとよし子は間違っていない。
- ・子どもだから空気を読めないと思う。